

○東京家政学院大学 オープンキャンパス参加の様子と生徒の感想

完全予約制の大学オープンキャンパスに参加しました。



☆参加した生徒から東京家政学院大学の方へのお礼と感想

2年 D.Hさん

拝啓

貴学ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

先日は貴重なお話を伺うことができ、大変光栄に思います。大江スミ先生の教えや、貴学の建学の精神をしっかりと理解するとともに、広い分野で学ぶことができる東京家政学院大学の魅力を改めて感じることができました。

貴学の食物学科では栄養について深く学ぶことができ、実習も充実していることが分かりました。校舎内を歩いて回ったとき、35年という長い間使われ続けている調理室の調理台のステンレスが古びていないことに驚きました。「片付けは1年生の時からしっかり叩き込みます」と説明して下さったことが、とても印象に残っています。料理を作るまでが全てではなく、後片付けや物を大切にすることの意味、次に使うときのことを考えた行動の大切さが分かりました。

それぞれの学科で取得できる資格や、同じ栄養学を学ぶにしても食物学科と人間栄養学科ではどのような違いが出てくるのかを詳しく教えていただき、自分が本当にやりたいことは何かを考える機会となりました。今回学んだことを生かして進路選択をし、学習に励みたいと思います。

末筆ながら、いっそうのご躍進のほどご祈念申し上げます。

敬具

2年 H.Kさん

拝啓

向寒の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日はオープンキャンパスでは大変お世話になりました。貴学の建学の精神や、大江スミさんのお言葉を知る良い機会となりました。また、貴学が生活に関するあらゆる分野を研究することができる大学だということが分かりました。

体験授業では、様々な器や料理の盛り付け方、企業による食品開発などを学びました。近年では、硬い食べ物を柔らかくしたり、苦い食べ物を甘くしたりしているというお話を伺い、大学での講義の様子や内容についての想像がしやすくなりました。

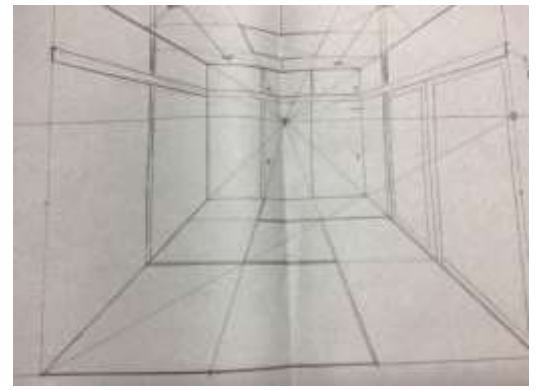
学科説明の際に、バター、マーガリン、オリーブオイル、ラードのそれぞれを使って作ったクッキーのうち最も美味しいものはどれか、という内容のお話をしていただきました。私はバターであると予想していましたが、正解はラードであると伺い驚きました。ラードの取り過ぎは身体に悪いと耳にしたことがあったので、味は美味しいのか疑問に思いました。家で実際に作ってみたいと思います。

また、最後の個人面談にて、食物学科 岩本直樹 准教授には大変お世話になりました。自分が将来やりたい仕事に向いている学科や必要な資格についてお話しいただき、今後の進路について考えることができました。今回は新型コロナウイルスの影響もあり、学生の方々の雰囲気を見ることができなかつたのが残念でしたが、また機会がありましたらぜひ見学をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

敬具



生活デザイン学科は、
一級建築士受験資格を
得られるカリキュラムあり。



↑生徒作品（20分間の作業）

2年 Y.Hさん

東京家政学院大学の皆様

本日はオープンキャンパスに参加させていただき、ありがとうございました。今回は2回目のオープンキャンパスでしたが、前回とは異なり体験授業や教授の紹介などを行っていただいたことで、充実した見学会となりました。

呉起東准教授の「映える写真」についての講義で、同じ場所で同じものの写真を撮るにしても、時間帯や天気などの条件により写り方が変わってくると伺いました。実際に綺麗な富士山の写真を拝見し、一枚ごとに見え方が異なることを実感しました。また、目立たせたいものを画面の中央ではなく中央から少しずれた位置にもってくることで、より自然に写るといふ黄金比率の話はとても参考になりました。私も趣味でよく絵を描いているので、次は黄金比率を意識して描いてみたいと思いました。

原口秀昭教授の製図の講義では、空間製図を行いました。今まで何度挑戦しても、自分では上手くできませんでしたが、たったの20分で製図が仕上がったことに驚きました。和室4畳半の畳の敷き方、長押（なげし）や真壁の配置など、初めて知ることが多くて楽しかったです。今回学んだことと原口教授のYouTubeチャンネルにアップされている動画を参考にしながら、改めて自分でも空間製図をしてみようと思います。

学校見学ツアーとその後の個別進路面談会もとても丁寧で、まだまだ自分のやりたいことが定まっていない私でもよく分かりました。改めて本日はありがとうございました。

2年 K.Rさん

先日のオープンキャンパスでは、貴学が「知と技を磨き徳を育む」というKVA精神を大切にされていることが分かりました。また、貴学が生活に関するあらゆる分野を研究分野にしているということが分かりました。入学後も自分のやりたいことを追求、探求することができ、4年間で自分が本当にやりたいことを見つけられるという点が魅力的だと思いました。幅広く様々なことに興味関心を持ち、学びを深められる大学だと感じました。体験授業では、2つの講座を受講させていただきました。

まず初めにカメラの授業を受講し、綺麗な風景や実際には綺麗ではないもの、何気なく存在する一瞬などをどのように綺麗に写すのかを教えてくださいました。私は斜光の写真が好きなので、斜光になる画角を探して撮影していましたが、逆光の写真も斜光とは異なる味が出て幻想的でした。主体となるものと、その周りの余白やコントラストの表現の仕方がとても綺麗な写真もありました。また、写真にも黄金比が存在することに驚きました。写真を撮ることが好きな私にとって、大変興味深い授業でした。

次に、建築の設計図の授業を受講し、和室の設計図を作成しました。今までどのように設計図を描けば良いかが分からず、手をつけられていませんでしたが、今回の授業で目の高さに合わせた2つの焦点を決めることが必要だということを学ぶことができました。指示していただいた線を描いただけで、あっという間に立体的な和室の設計図が完成したことに大変感銘を受け、今まで以上に建築への関心が深まりました。

また、個別相談で生活園芸士の資格も取れることを教えてくださいました。1ヶ月に1週間程度の園芸実習があるそうで、二級建築士と園芸の資格を持っていると就職に有利だということも伺いました。建築というと、物理や数学IIIを学んでいないといけないイメージもありますが、文系の人でも建築に興味を持って入学してくることも多いらしく、文系の人でも理解できるように細かく、分かりやすい講義が行われているそうです。